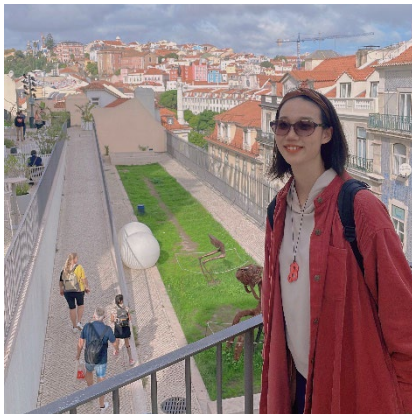


# OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 阿部 真衣奈

所属 (School) 文学部 人間行動学科

学年 (Grade) 4 回生

留学先 (Name of overseas institution)

ダブリンシティ大学

留学期間 (study abroad period)

2022/9/6~2023/1/4

記入日 2023/2/4

## 留学レポート Study Abroad Report

～留学をしてみようと思ったきっかけ～

第一に、高校の頃から海外の教育機関で教育を受けてみたいと思っていたからです。日本と海外では教え方や内容が違うことがあるので、それを体験したかったという長年の想いを叶えるために留学しようと思いました。ただコロナ禍で留学が厳しく、交換留学するのが4回生の後期になってしまったので、就活や将来のことを考えるとタイミングが悪いかもしれないと少し悩みました。ただ留学を通してさらに学びを深めたいという結論に至ったため、交換留学を決意しました。もう少し具体的に話すと、当時、私は文学部の心理学コース専攻で、文化・社会心理学の観点から「偏見」や「多様性」「排斥」などをテーマに研究を行っていました。より広く最適な知見を得るために海外の文献を参考にすることが多いのですが、それだけでは物足りず、留学を通して海外からの視点を得たいと思うようになりました。ダブリンシティ大学は、国際色豊かな地域で留学生も多い大学です。そこで、自分の研究するテーマに関する講義を受講したり、そのテーマに対して他国の生徒や教授と議論したりすることにより、改めて自分の追究するテーマについて深く広く考えたかったため、留学を決めました。

～授業～

どの授業もインタラクティブな授業だったので面白かったです。講義形式の授業を取っていても、生徒が手を挙げて発言する場面が何度もあり刺激的でした。先生が一方向的に講義を行うということに慣れてしまっていた自分は先生から学びを吸収するというスタイルを取っていましたが、周りの生徒から刺激をもらい、自分で何が正しいのか、何が大切なのか自分の意見を持って授業を受けるように意識が変わりました。「Interculturalism in Practice」という授業では、異文化間のコミュニケーション、異文化での適応、カルチャーショック、アイデンティティ、非言語コミュニケーション、差別、プライベートについて講義形式で授業が行われました。様々な国籍の生徒が集まり、隣に座った人と話し合う時間もたくさん設けられていたのでおすすめです。「Advanced English」という英語の授業も1つ取りましたが、スポーツや音楽、ライフスタイルなどをテーマに生徒や先生と活発に議論する時間があり、その時は積極的に発言するようにしていました。最後にグループディスカッションのテストがあったのですが、フランス人とドイツ人の留学生と同じグループになり、テストの準備をしているときに、恋バナや最近あった嫌なことなどを普通の友達のように話し合っているのが楽しかったです。「Ireland, Sex and Text」という授業では、アイルランドにおけるジェンダー問題について歴史的背景や法律、映画、コメディなど絡めながら講義が行われました。後半はトランスジェンダーやセックスワーカーの組織の方などがゲストスピーカーとして来てくださり、日本ではタブー視されるような内容も真剣に話し合えました。



～トラブル～

意外と湿気が多かったので、最初のうちは食材を腐らせることがあったり、Howth という綺麗な海のあるところで食べた生牡蠣で食中毒になったりしました。現地でできた友達と助け合って生活していくのがいいと思います。

～思い出～

月に2, 3度、現地で出来た多国籍の友達とカルチャーパーティーを開催しました。日本食をもてなしたり、ハンガリーやフランス、スイスの料理を作ってもらったりしました。みんなでゲームをして盛り上がり、異文化について話したりしました。また、生き方や考え方について真剣に意見交換もしました。例えば、人は他者のことをどのように見るのか、もし居心地が悪と思ったら、あるいは相手に嫌なことをされたら、それを相手に伝えるのか、どのように人間関係を築いていくのか、その文化差に興味があったので、それについて話しました。「相手にハッキリいやだと言う」「いやだと言わずに距離を置く」「いやだと言いたいけど実際は難しい」など答えはそれぞれ違っていても、自分も相手も大切にしようとする思いは同じなんだと思うこともありました。



スイスから来た留学生と仲良くなり、毎週お互いの人生相談をし合ったり、「しんどいな、疲れたな」という時には言語の壁を超えてハグをし合ったりもしました。二人で旅行に行くこともあったし、一緒に勉強をすることもありました。

また、日本に興味のあるアイルランド人とも親しくなり、夜明けまで将来のことや世界の見方について語り明かしたこともありました。

もう一度会いたい、そう思えるような人と出会えたのは貴重な出会いであるように思います。



～アイルランドで撮影した写真～

トリニティカレッジ図書館、ハイキングで行ったウィックロウ国立公園、ダブリンのシティセンター、パブなど。

